

世界文化遺産 長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産

ガイドマップ

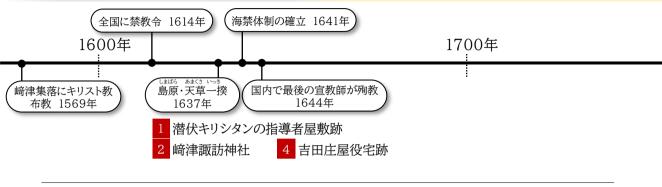
大草の崎津剣 しゅう ら

Sakitsu Village in Amakusa



天草の﨑津集落|の価値

I 宣教師不在と キリシタン「潜伏」のきっかけ 潜伏キリシタンが信仰を 実践するための試み



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

- ◎ 「天草の崎津集落」は、潜伏キリシタンが何を拝みながら信仰を実践したのかを示す4つの集落 のうちの一つです。
- ◎ 身近なものを信心具として代用することによって信仰を実践した集落です。

≪基本情報≫

文化財の名称			天草市﨑津・今富の文化的景観
種		別	重要文化的景観
指	定	年	2011年 2012年(追加選定)
所	在	地	天草市

資産内の 見学マナー 資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。

- ●ゴミ箱を設置しておりませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- ●道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
- ●喫煙は所定の場所でお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
- ●個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
- ●トイレは所定の場所でお願いします。

教会堂 見学の 事前連絡 教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

株式会社 KASSE JAPAN 九州産交コールセンター

https://www.kyusanko.co.jp/ryoko/pickup/sakitsu-church

〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番3号

太陽生命熊本ビル9階

TEL.096-300-5535 ◎受付時間 10:00~17:00(年末年始は休み)

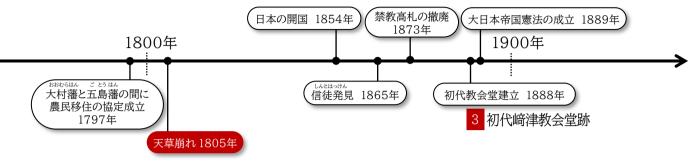


﨑津教会 予約



Ⅲ 潜伏キリシタンが共同体を 維持するための試み

IV 宣教師との接触による 転機と「潜伏」の終わり



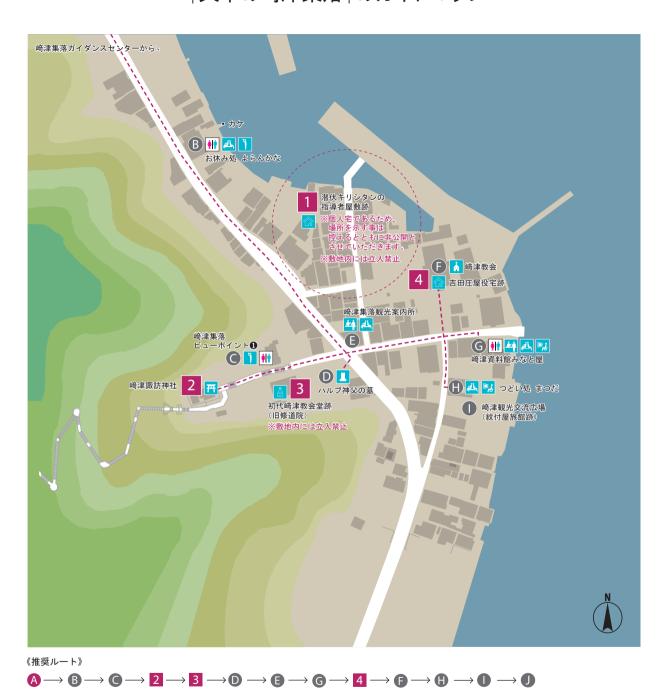
歷史

- © 崎津集落は、戦国時代以前には集落として成立していたと考えられ、1569年にイエズス会宣教師によりキリスト教が伝えられ、広まりました。
- ◎ 﨑津集落では、禁教期に入ってもひそかに組織的に信仰が続けられ、共同体の指導者がキリシタンの儀礼や行事を司りました。
- ◎ 﨑津集落の潜伏キリシタンは、表向きは仏教寺院に所属し、地域の守り神である﨑津諏訪神社 2 の氏子となり、吉田庄屋役宅 4 で「絵踏」を行い、キリシタンではないように振る舞いました。
- ◎ 長期にわたって独自に信仰を続ける中で、崎津集落の潜伏キリシタンは、生活や生業に根差したアワビの貝殻など身近なものを信心具として代用し拝むということによって信仰を実践しました
- ◎ キリスト教信仰が発覚した1805年の「天草崩れ」の際、これらの信仰形態を取り調べた幕府は、彼らの信仰を「心得違い」として黙認しつつ、引き続き「絵踏」を実施しました。
- ◎ 「信徒発見」後、崎津集落の潜伏キリシタンも来日した長崎の宣教師と接触して多くがカトリックへ 復帰し、1888年には初代教会堂が建てられました。
- ◎ 1934年に建てられた現在の教会堂は、ハルブ神父の強い願いにより、復帰の象徴としてかつて 「絵踏」が行われた吉田庄屋役宅のあった場所が選ばれました。

|天草の﨑津集落|のガイドマップ



|天草の﨑津集落|のガイドマップ





| 天草の﨑津集落 | の重要ポイント案内

潜伏キリシタンの指導者屋敷跡







※信心具は「﨑津資料館みなと屋」 G に展示しています。 アワビ (9.7×12.4cm、2.9cm)



※イラストはイメージです。

① 和鏡(個人所蔵)(10.8×10.8cm、1.0cm)

禁教期の﨑津集落では、大黒天や恵比須神、アワビの貝殻の内側の模様をキリスト教の信仰対象に見立てるなど、漁 村特有の生活や生業に根差した身近なものを信心具として代用することで信仰を実践しました。指導者の子孫の家では、 約50年前までクリスマスに信心具の収められた箱を開けて祈りを捧げていました。

崎津諏訪神社





﨑津諏訪神社は、禁教期の1647年に集落の守り神とし て創建されました。﨑津集落の潜伏キリシタンは、表向き は仏教徒として寺に所属しつつ、﨑津諏訪神社の氏子で もありました。1805年の「天草崩れ」では、隠し持っていた 信心具がここで役人に没収されました。現在も地域を代表 する神社として崇敬され、春と秋に行事が行われています。





初代崎津教会堂跡(旧修道院)

※敷地内には立ち入らないでください。







① 崎津諏訪神社の側に建つ旧修道院

この場所は、解禁後の1888年、﨑津集落内に最初に建てられた教会堂の跡地です。土地は、信徒の所有地が提供さ れました。教会堂の建設により、﨑津集落における「潜伏」は終わりを迎えました。現存する建物は、1957年に建てられ た修道院ですが、現在は使用されていません。

吉田庄屋役宅跡





教期に聖画像を踏ませてキリシタンかどうかを調 べる「絵踏」が行なわれていました。解禁後、フラン ス人のハルブ神父は、1934年に新たな教会堂(現 在の﨑津教会(下))を建てる際、強い希望によりこ の地を選び、かつての絵踏の場所に祭壇を置いた と伝えられています。

この場所は、﨑津集落の庄屋役宅の跡地で、禁

吉田庄屋役宅跡(現在の﨑津教会の敷地)





過去と現在のエリア比較

過去



﨑津村絵図(1842年以降、天草市)

現在



現在の﨑津集落

| 天草の﨑津集落 | のその他のポイント案内

♠ 協議第二 ・ 「「「」」 ・ 「」 ・ 「」 ・ 「 ・ ・ 「 ・ 「 ・ <













来訪者に映像やパンフレット等で﨑津 集落の見学に必要な情報を提供してい ます。また、集落の見学マナーや﨑津 教会の拝観マナーの周知を行っていま す。レンタサイクルもあります(有料)。

- ●所 在 地/天草市河浦町﨑津1117-10 Tel: 0969-78-6000
- ●営業時間/9:00~17:30
- ●休館 日/12月30日·31日·1月1日
- 入場料金/無料 ●レンタサイクル/ 200円/日

Bお休み処 よらんかな・カケ





元は漁師網元の家で、現在は来訪者の 休憩所として活用されています。「カケ」は、 船の係留や干物づくり、漁具の手入れなど、 漁師の作業場として使われる海上テラスの ことです。

◎ 崎津集落ビューポイント●



前方に見える﨑津教会は禁教期に吉田庄屋役宅のあった場所です。庄屋役宅 跡に加え、﨑津諏訪神社と参道を含む集落一帯は、禁教期から今日まで、土地形 状がほぼ継承されています。寺や神社といった日本在来の宗教施設と教会が共 存する特徴的な集落景観となっています。

1 ハルブ神父の墓

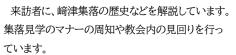




現在の﨑津教会を建設したフランス人のハルブ神 父の墓です。ハルブ神父は1927年12月に司祭とし て着任して以来、宣教と教会堂の建築に献身し、 1945年1月、81歳で永眠しました。

B 崎津集落観光案内所













F 崎津教会









1934年、ハルブ神父と住民の寄附によって建てられました。コンクリート造りの計画で建築されましたが、資金不足により、途中で木造に切り替えられたため、灰色のコンクリート部分と白色の木造部分が混在する特殊な教会堂となりました。堂内には、建設当初から日本の生活様式を取り入れて畳が敷かれており、床に座ってミサが行われていました。

教会堂の拝観マナー

教会堂は大切な祈りの場ですので、拝観マナーを守り、厳粛な雰囲気の中で心静かにお過ごしください。













- ●堂内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。
- ●堂内にある物にはふれないでください。
- ●柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。
- ●堂内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。
- ●堂内の写真撮影は禁止です。
- ●教会行事(ミサや冠婚葬祭など)が行われているときは入堂をご遠慮ください。
- ●教会堂見学に対する感謝の気持ちは、教会堂保存のための寄付として設置してある献金箱にお願いします。

G崎津資料館みなと屋





●所 在 地/天草市河浦町﨑津463 Tel: 0969-75-9911

- ●営業時間/9:00~17:00
- ●休館 日/12月30日·31日·1月1日
- ●入場料金/大人100円、高校生以下無料





1936年に建てられた旅館を改修した資料館です。崎津集落で継承され、個人で保管してきたキリスト教信仰に関する資料や崎津教会所蔵の資料を展示しています。また、崎津集落の歴史や独特のキリスト教信仰について映像やジオラマ、パネルなどで分かりやすく紹介しています。

① つどい処 まつだ(ギャラリー)





﨑津集落の風情や歴史を絵画などで伝えるギャラリーと休憩 スペースです。

- ●所 在 地/天草市河浦町﨑津470
- ●営業時間/9:00~17:00
- ●休 館 日/12月30日·31日·1月1日
- ●入場料金/無料

● 崎津観光交流広場(紋付屋旅館跡)



菊池寛や林芙美子、野口雨情、林房雄、大宅壮一、司馬遼太郎など、多くの作家・文人が訪れた旅館跡。太平洋戦争末期から終戦後にかけての、天草を舞台にした連続テレビ小説「藍より青く」(昭和47年~48年)のロケ地としても知られる。

● 論準集落ビューポイント2





港の対岸から﨑津集落が一望できます。禁教期からの集落の骨格を形成している主要な道や宅地、信仰の場所やその跡が現在も残り、﨑津集落の独特の景観を作り出しています。

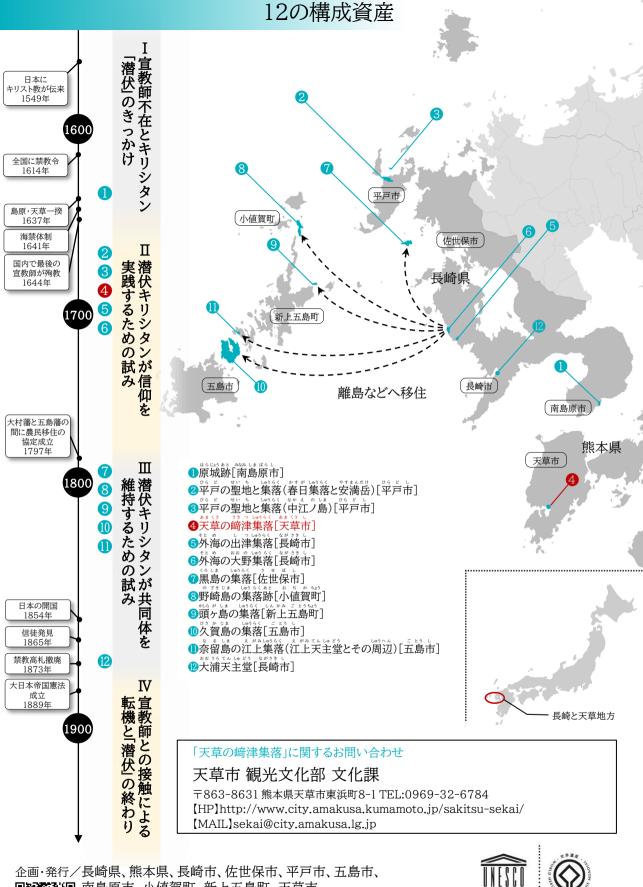
かいじょう でき 海上マリア像





※天草漁協﨑津支所付近にあるデッキから見学してください。

マリア像は、信仰のシンボルとなるよう、また、漁師たちの道しるべ、心の灯となるよう、多くの人々の協力を得て1974年に建てられました。像が建てられた岸壁は、聖母マリアの姿が現れる場所として潜伏キリシタンに信仰されてきました。マリア像の向こう側に沈む夕陽が、ロマンティックな雰囲気を演出し、天草夕陽八景の一つとしても有名です。



南島原市、小値賀町、新上五島町、天草市

潜伏キリシタン遺産

検索 https://kirishitan.jp

撮影協力/ ①池田 勉 、⑪日暮 雄 2023年3月発行



文化機関



長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産 世界遺産登録年:2018年